

副教材【たばこに関する全国と千葉市のデータ】使用のための説明書

データ	〈目的〉 ■問いかけ●読み取りに必要な内容・説明	留意点
① 現在習慣的に喫煙している者の割合	〈目的〉 喫煙率の傾向を知る。 ＊女性より男性の方が多い。 ＊40代～50代に多い。 ＊喫煙率が高い年代で3割程度である。	喫煙率の傾向をイメージさせる。
② 受動喫煙の変化	〈目的〉 ・受動喫煙は、昔に比べると減少しており、良い方向に向かっているが、それでもまだ受動喫煙の害を受けることを知ってもらう。 ・受動喫煙から逃れる手段が考えられると良い。 〈児童への投げかけ案〉 ■「受動喫煙を受ける人はどう変化している？」 ●社会情勢が変化し、法律も人々の健康を守るものにかわってきた。	飲食店や職場での受動喫煙率は、低下しているが、まだ受動喫煙対策が必要であることを気づかせる。 教科書の内容にある禁煙表示の流れから、受動喫煙の変化につなげることもできる。
③ もっと進めよう 受動喫煙対策	〈目的〉 ・受動喫煙対策として千葉市でどんな取組みがされているかを知る。 ・色々な場所で、もっと受動喫煙の害を減らしてみんなの健康が守ることができる社会にしていく。 ●禁煙ステッカー ・禁煙のお店に入口などに掲示してある。 ・たばこを吸える場所には、大人と一緒にでも、20歳未満の子どもは入れません。 ●「千葉市受動喫煙の防止に関する条例」 千葉市では子どもを受動喫煙から守る条例がある。 吸っている人が目の前にいなくても有害物質が残ることがあるので、注意が必要となる。	飲食店や職場での受動喫煙率は、低下しているが、まだ受動喫煙対策が必要であることを確認する。 教科書の内容にある禁煙表示の流れから、受動喫煙の変化につなげることもできる。